

どんぐり村の こみ・すく通信

令和4年9月12日発行

令和4年度 第11号

更別村コミュニティスクール委員会事務局(教育委員会)

第2回学校運営協議会後、合同研修会で話し合いを深める

中谷通恵氏(ネット健康問題啓発者養成全国連絡協議会認定インストラクター)の講演を聴いて

8月18日、村内小中学校の学校運営協議会を開催し、その後CS委員会との合同研修会で講演を聴きグループに分かれて話し合いを行いました。



各学校運営協議会では

更別小学校学校運営協議会

〇コロナ禍での感染対策をして、予定されている教育活動を進め、子どもの健やかな成長につなげてほしいという意見が出される。

上更別小学校学校運営協議会

〇外トイレ設置、女子児童トイレの洋式化に歓迎の意見が出される。児童の安全管理、学校の危機管理上の話題も。

更別中央中学校学校運営協議会

〇小麦をテーマにした学習について質問が出る。趣旨や協力いただいている地域の方について。

CS委員会と学校運営協議会の合同研修会



協議の様子「どうしますか？」

講演テーマ 「子どもたちの未来を守るネット対策」

ネットの恐ろしさ(特にネット・ゲーム依存)、大人がどう対応したらよいか

講演はオンライン。更別小学校家庭教育学級生も参加し、感染対策をして全47名で行われました。

中谷さんは、スマートフォンの動画視聴、オンラインゲームが脳や学力に及ぼす影響等についてデータをもとに分かりやすく話してくれました。

講演後、家庭内で話し合うことを前提に、4つのグループに分かれ、子どもの「スマホ・ゲーム機等の使い方」について以下の内容を協議しました。

- (1) 使用時間、最終使用時間について
- (2) ネットにつながるスマホ、ゲーム機などの危険性を考え、使い方についてどう話すか。
- (3) スマホ・ゲーム機等の使う場所、置き場所について

「講演」の感想の一部を紹介

- ・とても勉強になりました。子どもたちと一緒に今後ゲーム等の使い方について改めて話し合おうと思います。
- ・改めて幼児期の五感を使った遊びが大切!!と感じました。
- ・子どもより親の問題であることを痛感しました。
- ・「保護者の輪が必要」というお話にはっとさせられ、更別村CS委員会が取り組んでいることはマッチしていると感じた。



【グループでのまとめ】

☆協議の結果は、今後CS委員会、学校運営協議会で共有し、児童会・生徒会とも連携していきます。

最終的には村の中での大まかな約束に。